

## 平成30年度 連携・協力事業の実施状況について

教員研修専門部会

## 【プロジェクト名】 中堅教諭等資質向上研修等研修機会の多様化

## 1 プロジェクトの目的・概要

本事業は、平成17年1月に締結された佐賀県教育委員会との「連携・協力協定書」に基づく事業である。中堅教諭等資質向上研修（旧10年経験者研修）は、教育公務員特例法改正（平成14年6月）により制度化された教職歴10年の教諭を対象に行われる研修で、平成29年4月の法改正により、名称が変更となった。中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる学習指導、生徒指導等に対する指導力の向上、教育公務員としての資質向上等のため実施するものである。佐賀大学教育学部は、喫緊の教育課題への対応や新の専門的知識・指導方法の獲得など教育における多様なニーズに応えるために、現職教師に向けた「より高度で多様な現職研修」の実現を図ることを目的として、大学及び附属学校を活用して様々な講座を開設し、教員の資質と指導力の向上に取り組んでいる。

## 2 平成30年度の実施状況

H30年度は表のとりの全10講座（U1～U13）が実施された。

表 平成30年度「中堅教諭等資質向上研修」の講座一覧

講座番号	教科等	対象校種	講座名（講師名）	実施日	人数
U1	特別支援	全校種 養護教諭	自閉スペクトラム症の捉え方と療育支援の展開を通して （松山郁夫）	8/20（月） 13:00～17:00	12
U2	情報モラル	全校種	児童生徒の情報モラルを向上させる手法のワークショップ （角和博）	7/30（月） 13:00～16:30	1
U3	ICT利活用教育	全校種	教員のコミュニケーション能力向上のためのワークショップ （角和博）	6/11（月） 13:00～16:30	1
U4	理科	小中高	お昼の正規授業時間内にも可能な身近な天文関連にかかわる教育内容の充実（大隅秀晃）	8/29（水） 13:00～16:30	
U5	保健	全校種 養護教諭	思考力・実践力を身につける保健の授業づくり （栗原淳）	11/9（金） 9:00～16:30	1
U6	図画工作 美術	小中	地域の郷土玩具を活用した文様（和田学）	6/13（水） 13:00～16:30	
U7	学級経営	小中	楽しく豊かな学校・学級生活づくり（中村尚志）	10/1（月） 13:00～16:30	2
U8	道徳	小中	評価ができる道徳の授業づくり（中村尚志）	11/19（月） 13:00～16:30	3
U9	全教科	全校種	授業力向上研修会	7/27（金）	8
U10	指定教科 ①～④	全校種	「児童生徒の活用力向上研究指定事業」公開授業研究会 ①国語 ②数学 ③英語 ④技術	6/5（火） 14:00～16:40	5

U11	指定教科 ①～④	全校種	「児童生徒の活用力向上研究指定事業」公開授業研究会 ①国語 ②社会 ③理科 ④英語	7/6(金)	中止
U12	指定教科 ①～③	全校種	「児童生徒の活用力向上研究指定事業」公開授業研究会 ①社会 ②理科 ③英語	1/25(金)	
U13	全教科	全校種	公開教育研究発表会	11/8(木) ～11/9(金)	12

今年度は全 13 講座(U1～U13)が計画された。しかし、U11 の公開授業研究会は中止となった。さらに U4 と U6 は受講希望者がいなかった。全参加者は U12 を残す現段階で、45 名で昨年度に比べると約半分の人数であった。受講後のアンケート調査より大学が提供する講座の開始時間が 13 時からの講座は、受講しづらいという意見や実施日がまだ決まっていない講座などは敬遠されるということが分かった。H31 年度ではこの点を改善したいと考えている。また、アンケートの中には、「新学習指導要領の理解につながった」、「主体的・対話的で深い学びを具現化するヒントが学べた」、「中堅研として研究発表会へ参加できたことがよかった」などの肯定的評価も多くみられた。

講座数は来年も同程度の数を開講する予定でたくさんの受講者を期待したい。

### 3 今後の予定等

H31 年度講座開講に向け、学部教員、学校教育学研究科教員に協力依頼を進めていく予定であるが、大学としてのマンパワー不足、あるいは個々の教員の負担増などから、研修提供体制について、縮小も考えていた。また、「教員育成協議会」の発足に基づく教員研修の在り方を踏まえて、県の教員育成の方向に教育センターを始め関係部署との協力体制を強化しながら、充実した研修の提供を継続して図っていく。

本年度は附属学校の研究発表のやり方について改革を行う必要があり、附属小学校の「授業力向上研修会」、附属中学校「児童生徒の活用力向上研究指定事業」公開授業研究会などの頻度も下がるのが予想される。また、学部では ICT 教材を用いた授業づくりを組織的に行うことが課題であり「ICT クラスルーム」を活用した研修会等も設けて行く必要がある。